

# 発言通告書（質問）

次のとおり、①. 一般質問 2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問) の通告をいたします。

平成 19年 9月 18日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池 智明 印

受付 No. ....  
平成 年 月 日  
午(前・後) 時 分  
受理者

( 小池智明議員 2 -1 )

発言項目	まちづくり・交通政策としての自転車の通行環境整備について	
要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者	
	市長及び担当部長	
	<p>自転車は、誰もが使える手軽な移動交通手段として、子供からお年寄りまで広く利用されている。日常の生活圏内の移動であれば、自動車と比べ経済的であり、環境負荷も低く、交通渋滞・交通事故の減少にも寄与し、健康にも良いなど、さまざまな面で利点が多い。</p> <p>また自転車は、マイカー中心から公共交通中心の交通体系への移行、既成市街地を中心とするコンパクトシティの形成を進めていく上でも、不可欠な移動交通手段と考える。</p> <p>しかし現実には、自転車で安全・快適に移動できる交通環境は整っておらず、通学に多数が利用する高校生などの自転車事故が多発している。</p> <p>こうした中で、以下の3点について質問する。</p> <p>(1) 富士市のまちづくり・交通政策において、自転車交通の基本的な位置付け、あり方をどう考えるか</p> <p>(2) 道交法改正(19年6月)に伴い、富士市内における「自転車の通行環境整備の推進」に市としてどう取り組むのか</p> <p>(3) その他、現状の取り組みの中での自転車通行環境整備の工夫策について</p>	

発言項目	公共下水道の接続促進について	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>下水道は、水洗トイレが使える快適な生活を送るとともに、川や海などの公共用水域の水質の保全、環境改善を進める上で、重要不可欠な社会基盤である。接続が可能になった段階で速やかに接続することが重要であり、接続してこそ投資に対する効果が発生する。</p> <p>富士市の公共下水道は、本年4月1日現在、全体計画に対する接続可能なエリアの人口割合は75.4%だが、接続可能なエリア(処理区域)における接続済み人口(=水洗化率)は89.9%であり、10人に9人が接続している。</p> <p>しかし、未接続の約10%は、戸数では約6,500戸、人口では約17,000人にのぼり、いかにこの未接続の家庭の接続を促進するかが課題である。</p> <p>こうした中で、以下の2点について質問する。</p> <p>(1) 下水道未接続家庭の接続しない原因等をどのように把握、分析しているか</p> <p>(2) これまでの接続促進への取り組みの総括と、今後の更なる対策をどう考えるか</p>	市長及び担当部長